

松陽学区



データファイル

- 人口 9,676人
 - 世帯数 3,742世帯
 - 面積 1.831km²
- *平成17年国勢調査(10月1日現在)



伝統を守り、世紀の頭脳を生み出す松陽学区

地域全体が西高東低の地形となっている松陽学区。千代原口交差点付近では現在半永久的な交通渋滞緩和のため、平成20年代前半の供用開始を目指し、国道9号線の立体交差事業が進行中です。

また、西に広がる丘陵地帯は、かつて竹やぶで覆われていましたが、平成15年、京都大学工学部の一部が移転、京都大学桂キャンパスとして開校。それに付随して桂イノベーションパークの整備が進み、関連の研究施設が次々と完成。それに伴うサービス施設などの建設も進み、超近代的な一大学園都市として変貌を遂げつつある学区です。

天皇の杜古墳などの史跡でも知られる松陽学区御陵御茶屋山の山裾の地藏堂には、鎌倉期の作とされる、お顔が美しく、やや大型のお地藏さんが祀られています。染殿(文徳天皇)皇后が安産を祈願して建立したものと伝えられ、腹帯地藏とも呼ばれています。

その昔、御陵町の戸主が礼装で集まり、小判型のもちを地藏尊に供える「おこない」という行事が長く受け継がれてきました。かつては村の相続人となる戸主の公認という意味を持って

いたのだとか。今も町内自慢のお地藏さんは、地域の尊敬を一身に集め、地藏盆などでは大変な賑わいを見せております。

近年、学区内では若い世代の増加が目立ち、小学校の児童数も年々増えています。人口の増加とともに問題となるのが昼間留守になる家庭の子どもたちですが、学区永年の悲願であった学童保育所も開設され、更に平成19年4月には、松陽児童館の開設運用の運びとなりますので、これを機に、学童保育所並びに児童館の更なる発展と子育て支援の充実に努めていきたい。未来を担う子ども達を健やかに育む地域づくりが私たちの大きな願いです。



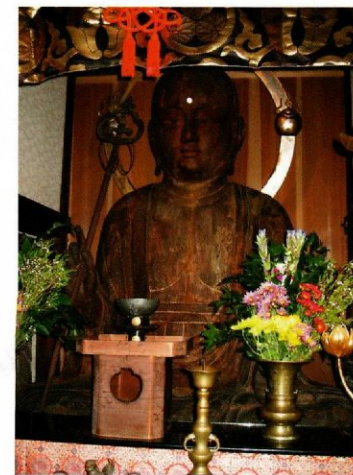
松陽学区区民体育大会



一般国道9号京西立体交差事業
(千代原口交差点付近)



京都大学桂キャンパス全景



高さ2mを越す立派なお地藏さん



敬老会



松陽少年補導委員会によるもちつき大会



松陽 地域・子ども見守り隊



時代祭「いざ出陣」